

外来機F-16戦闘機の大挙飛来等に対する抗議決議

去る6月8日、嘉手納基地でF-15戦闘機と共同訓練を予定している、韓国クンサン米空軍基地所属のF-16戦闘機12機が嘉手納飛行場に飛来した。

F-16戦闘機は昨年にも一時配備され、F-15戦闘機と共同訓練を実施し、最大110.8デシベルを記録し騒音が激化した。

嘉手納基地の現状は、5月10日、嘉手納基地から訓練に出たAV-8ハリヤー垂直離着陸攻撃機が長さ40センチ、幅10センチの航空機の抵抗を抑える金属製パネルを落下させて帰還する事故が発生し、4月にも胴体着陸する事故を起こしている。また、6月13日、F-15戦闘機が縦横15センチの左翼部分衝突防止灯レンズを飛行訓練中に部品紛失も発生。6月15日、F-16戦闘機の給油中に燃料漏れを起こし、さらに同日、別のF-16戦闘機が自走できず、けん引車で移動する事故が相次いだ。

近年の嘉手納基地の運用実態は、常駐機のF-15戦闘機等の他に、様々な外来機が幾度となく飛来し、米軍再編協議で合意された負担軽減どころか、異常な基地運用で基地機能強化と言わざるを得ない。

このようなときに国、防衛省は、第3次嘉手納基地爆音差止訴訟の第3回口頭弁論で「国の移転補償を使わずに基地周辺に住み続ける住民は米軍機の騒音を甘受すべきである」と発言している。この発言は、地域コミュニティの破壊、基本的人権を無視するもので容認できない。

日米両政府が、嘉手納飛行場への外来機飛来を禁止しなければ、町民の不安を払拭することができない。

よって、北谷町議会は、町民の生命、財産、安全を守る立場から関係機関に対し、厳重に抗議するとともに、下記事項について速やかに実現するよう強く要求する。

記

- 1 外来機F-16戦闘機による共同訓練を中止し、嘉手納基地からF-16戦闘機を撤去させること。
- 2 嘉手納飛行場への外来機飛来を禁止すること。

以上、決議する。

平成24年6月21日

沖縄県中頭郡北谷町議会

あて先

駐日米国大使 在日米軍司令官 在日米軍沖縄地域調整官 在沖米国総領事 嘉手納基地第18航空団司令官

外来機F-16戦闘機の大挙飛来等に対する意見書

去る6月8日、嘉手納基地でF-15戦闘機と共同訓練を予定している、韓国クンサン米空軍基地所属のF-16戦闘機12機が嘉手納飛行場に飛来した。

F-16戦闘機は昨年にも一時配備され、F-15戦闘機と共同訓練を実施し、最大110.8デシベルを記録し騒音が激化した。

嘉手納基地の現状は、5月10日、嘉手納基地から訓練に出たAV-8ハリアー垂直離着陸攻撃機が長さ40センチ、幅10センチの航空機の抵抗を抑える金属製パネルを落下させて帰還する事故が発生し、4月にも胴体着陸する事故を起こしている。また、6月13日、F-15戦闘機が縦横15センチの左翼部分衝突防止灯レンズを飛行訓練中に部品紛失も発生。6月15日、F-16戦闘機の給油中に燃料漏れを起こし、さらに同日、別のF-16戦闘機が自走できず、けん引車で移動する事故が相次いだ。

近年の嘉手納基地の運用実態は、常駐機のF-15戦闘機等の他に、様々な外来機が幾度となく飛来し、米軍再編協議で合意された負担軽減どころか、異常な基地運用で基地機能強化と言わざるを得ない。

このようなときに国、防衛省は、第3次嘉手納基地爆音差止訴訟の第3回口頭弁論で「国の移転補償を使わずに基地周辺に住み続ける住民は米軍機の騒音を甘受すべきである」と発言している。この発言は、地域コミュニティの破壊、基本的人権を無視するもので容認できない。

日米両政府が、嘉手納飛行場への外来機飛来を禁止しなければ、町民の不安を払拭することができない。

よって、北谷町議会は、町民の生命、財産、安全を守る立場から関係機関に対し、厳重に抗議するとともに、下記事項について速やかに実現するよう強く要請する。

記

- 1 外来機F-16戦闘機による共同訓練を中止し、嘉手納基地からF-16戦闘機を撤去させること。
- 2 嘉手納飛行場への外来機飛来を禁止すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年6月21日

沖縄県中頭郡北谷町議会

あて先

内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣 外務省特命全権大使（沖縄担当）
沖縄防衛局長